



投資環境

2024 年 9 月 30 日

石破氏、自民党総裁選で勝利 市場は円高・株安に

□ 自民党総裁選で石破氏が勝利

9 月 27 日に実施された自民党総裁選で石破氏が勝利し、石破政権が誕生する見込みとなりました(10 月 1 日に正式に発足予定)。石破氏は、決選投票で高市氏を僅差で破り、勝利しました。なお、1 回目の投票では、高市氏が石破氏を上回る票数を獲得しており、石破氏は逆転勝利した格好です。

□ 逆転の背景は？

1 回目の投票で石破氏を上回っていた高市氏ですが、決選投票で僅かに及ばず初の女性総理・総裁誕生とはなりませんでした。なぜ、敗れることになったのでしょうか？

あくまでも推測ですが、以下の要因が考えられます。

第一に、高市氏が政治資金問題を起こした安倍派の議員から支援を受けていたことです。高市氏が総裁となった場合、野党から政治資金問題を追及されやすいのではないかと不安から政治資金問題を起こしていない多くの議員は、石破氏に投票しようと考えた可能性があります。

第二に、高市氏の保守的な政治思想への警戒です。高市氏は、中国に対して強硬な姿勢を示すなど保守的な思想を持っていることで知られています。対中関係の悪化への懸念や選挙で幅広い国民の支持を得ることが難しいのではないかと考えから、石破氏に票が集まった可能性があります。

なお、党員票の総数は高市氏が石破氏を上回っていました。かねてから石破氏は総裁選における党員票の割合を引き上げるべきとの主張をしていましたが、今回の総裁選で仮に党員票の割合を引き上げていた場合、高市氏が勝利していた可能性もありました。国会議員の票を重視する選挙のルールが石破総裁誕生につながったとも言えそうです。

□ 石破氏と高市氏の政策比較

高市氏と石破氏はどのような政策を掲げていたのでしょうか。以下、それぞれの政策を比較したいと思います。

①日銀の金融政策

基本的に、金融政策は日銀が実施するものであり、首相や政府が決めるものではありません。ただ、日銀の植田総裁は政権と意思疎通を図っていきたいとの考えを示していることから、首相の意向が金融政策に影響を及ぼす可能性はあります。

高市氏は「日銀は、金利上げすべきでない」との考えを明確に示していました。一方、石破氏は「日銀の独立性を尊重しつつ、経済を冷やさない速度での正常化を期待する」としており、金融政策の正常化に前向きな考えを示していました。

市場では、金融緩和に前向きな高市氏が首相となった場合、日銀は利上げを進めづらくなり、円安・株高が進む一方、金融政策正常化に前向きな石破氏が首相になると、日銀は利上げを進めやすくなり、円高・株安が進むのではないかと見方が広がっていました。

②税制

高市氏は、経済成長を追求することを重視し、増税を行わない考えを示していました。一方、石破氏は格差是正のために金融所得課税を引き上げることや法人税を引き上げることを検討する考えを示して



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

いました。石破氏が首相になった場合、金融所得課税引上げによって株式を売却する動きが広がり、また、法人税増税によって企業収益が悪化するのではないかと懸念から、市場では、株価にネガティブに働くのではないかと観測が強まっていました。

□ 幻の高市総裁誕生、一時円安・株高に

「高市氏が党員票を伸ばしている」との報道を受けて、27 日午後の東京市場ではじりじりと円安・株高が進行しました。そして、1 回目の投票で高市氏が一位となったことで、高市総裁誕生への期待から一段と円安・株高が進み、ドル円は一時 146 円台に上昇、日経平均株価は 4 万円に迫る水準に上昇しました。

□ 石破総裁誕生を受けて、一転、大幅な円高・株安

東京市場が引けた後の 15 時半ごろに石破氏が勝利したことが伝わると、高市総裁誕生が幻となった失望感に加えて、石破氏の政策への警戒感から一転ドル円は 143 円台に急落、日経平均先物は 2 千円程度下げる展開となりました。

□ 短期的な反応はネガティブも、中長期的には株高基調は変わらずか

石破総裁誕生を受けた市場の動きは、事前に想定していたとおり、円高・株安が進み、加えて、日銀の利上げ観測の高まりを受けて、国内金利は上昇、東証リート指数は下落となっています(図表 1~4)。

ただ、石破総裁は、岸田政権の経済政策を基本的に引き継ぐことを強調しています。具体的には、デフレ脱却を最優先で進めることを強調し、最低賃金を引き上げることなどを掲げています。また、「少額投資非課税制度(NISA)に代表される貯蓄から投資への流れは加速しなければならない」と強調しています。

岸田政権において日経平均株価は、3 年間で約 3 割上昇しました。岸田政権の経済政策を引き継ぐことを強調している石破政権でも、株高基調は継続することが期待できそうです。

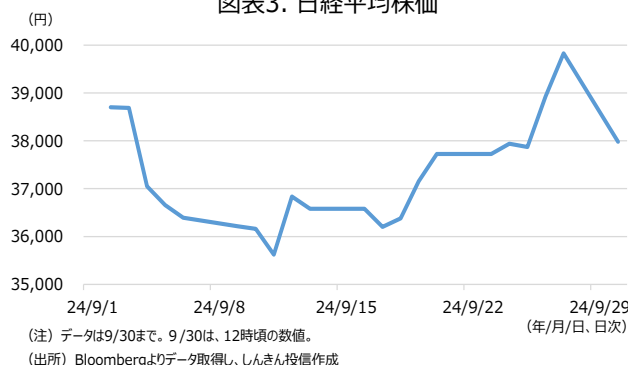
図表1. 国内長期金利



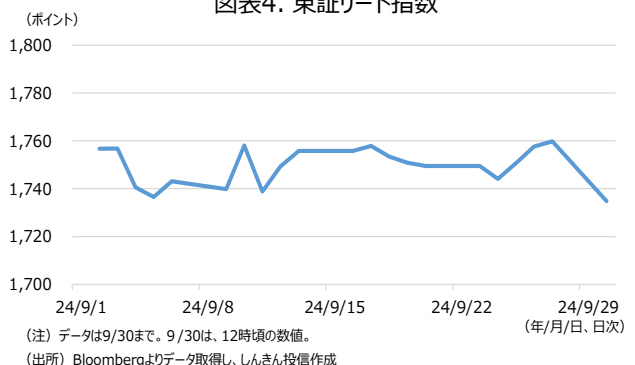
図表2. ドル円



図表3. 日経平均株価



図表4. 東証リート指数





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

▣ 衆院選は 10 月 27 日に実施予定、引き続き国内政治動向に振らされる展開か

石破総裁は、10 月 9 日に衆議院を解散し、27 日に投開票とする方針と報じられています。今後は、自民党の公約の内容や選挙結果が注目されます。10 月の市場は、引き続き国内政治動向に振らされる動きが予想されます。

(ストラテジスト 澤村一樹)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号
Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 上限 0.3%

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。